

2016年度 国際保健医療における「医療の質」専門コース

募集要項

1. 背景

国立研究開発法人国立国際医療研究センター（NCGM）国際医療協力局は、保健医療分野で日本を代表する国際協力機関として厚生労働省や外務省、国際協力機構（JICA）、世界保健機関（WHO）、および国立病院機構などと連携し、開発途上国の医療や保健衛生の向上を図るため、各国への技術支援や国内外の人材育成、国際保健医療の研究を行っています。これまで四半世紀にわたってアジア・アフリカ・中南米の国々を中心に技術協力プロジェクトを展開しており、開発途上国から研修員の受入れ数は延べ約 4,800 人（約 130 か国）にのぼります。

近年、グローバル化の潮流の中で日本へ求められる期待は保健医療分野でも高まりつつあり、国際的に活躍できる日本人保健医療人材の育成が求められています。NCGM 国際協力局では、特に世界においてグローバルヘルスの潮流をリードできる人材養成が期待されていることを受け、基礎を踏まえた上での新たに日本人を対象とした国際保健医療における「医療の質」専門コースを実施いたします。

2. 目的

本講座では、「医療の質」をテーマに開講します。経済成長の後押しで開発途上国の医療技術は進歩し、医療現場が複雑化しています。先進国のみならず開発途上国においても医療の現場と医療技術の不調和が医療事故のリスクを高めていることは容易に想像できます。国際的な関心を集める「医療の質改善」は、UHCを実現する鍵とも言われ、これを改善課題とする国際医療協力も実施されています。しかし国際協力の現場で「質の文化と技法」を医療に応用する際には、質そのものも話す人によって異なる、質は全てに当てはまるので議論がまとまらない等の難しさに直面します。

本講座では国際保健医療協力で「医療の質」に取り組む際の考え方を紹介します。

3. 研修日時 平成29年3月18日(土) 9:00~17:00

4. 研修場所 国立研究開発法人国立国際医療研究センター
国際医療協力研修センター3階
東京都新宿区戸山1-21-1

5. 研修内容

質の概念と評価方法を国際協力医療に応用する方法を学び、自身のプロジェクトに質の概念をどう応用するか考察出来るようになる。

	講義・演習内容
1	医療の質・安全の歴史
2	質の概念、質の評価基準・標準
3	質が改善したとはどういう状態か
4	質改善アプローチ
5	クリティカル・マスの養成

講義は日本語、資料は英語で行います。

6. 到達目標

- (1) 質の概念を理解する
- (2) 質評価の体験を通じて、質の基準を理解し、改善課題を明確に出来る。
- (3) 質の評価結果を現場へ適切にフィードバックできる。

7. 募集人数： 20名

先着順とし、定員に達し次第募集を終了します。

8. 参加費：10,000円(税込)

9. 参加資格

- (ア) 国際保健、国際協力に関する業務、研究、教育に携わった事のある者が望ましい。
- (イ) 年齢が20歳以上である事
- (ウ) 上記「ア」・「イ」の条件を満たし、講座全科目に参加可能な者

10. 修了証書の授与

全科目修了者へ修了証書を授与します。

1 1. 参加手続

応募申込書を国立国際医療研究センター国際医療協力局研修課宛にお送りください。

2017年3月10日(金)迄 消印有効

(応募書類は郵送で送付願います)

1 2. 受講者の決定

先着順とし、定員に達し次第募集を終了します。

1 3. 研修実施事務局（お問い合わせ及び申し込み）

国立研究開発法人国立国際医療研究センター

国際医療協力局 研修課

国際保健医療における「医療の質」専門コース事務担当

〒162-8655 東京都新宿区戸山 1-21-1

TEL (代表) 03-3202-7181 (内線) 2742

E-mail:kensyuka@it.ncgm.go.jp